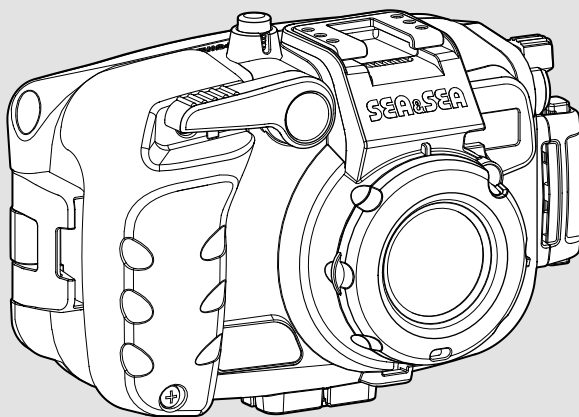


**UNDERWATER DIGITAL  
CAMERA HOUSING**

***DX-1200HD***



**取扱説明書  
Instruction Manual**

日本語

English

## はじめに

この度は、シーアンドシー製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
います。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みいただいた後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## お知らせ

### 耐圧検査合格シール



このシールが貼られている製品は、シーアンドシー 耐圧検査基準に基づいた検査に合格している製品であることを表しています。\*

## 目次

安全上のご注意.....	J-2
同梱品を確認しましょう.....	J-4
各部の名称.....	J-5
裏蓋の開け方.....	J-6
1200HDカメラのハウジングへのセット方法.....	J-7
各部の操作.....	J-8
遮光フード.....	J-9
ハンドストラップ.....	J-9
ディフューザー.....	J-10
可動式ファイバーソケットレバー.....	J-10
レンズプロテクター.....	J-11
シリカゲル(乾燥剤).....	J-12
オプションアクセサリーの取り付け.....	J-13
ワイドコンバージョンレンズ(オプション).....	J-13
アクセサリースュー.....	J-14
光ファイバーケーブル(オプション).....	J-14
お手入れと保管上のご注意.....	J-15
仕様.....	J-16

## 安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をお読みにになり、正しくお使いください。  
お読みにになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ここに示した注意事項は、人や製品への危害や損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから製品を正しく安全にお使いください。



### 警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。



### 注意

取り扱いを誤った場合、ケガを負う可能性および物的損害の発生が想定されます。また、製品の品質・信頼性が損なわれる可能性が想定されます。



### 警告

- 本製品を乳幼児の手の届くところに置かないこと。付属品や小さな部品などを誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。



### 注意

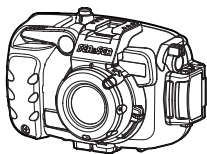
- ご使用の前に必ずカメラ本体の取扱説明書をよく読んでからお使いください。
- 本製品を絶対に分解・加工・改造しないでください。浸水や故障の原因になります。分解・加工・改造品の浸水・破損等の保証はいたしかねます。修理や内部の点検は、ご購入の販売店にご相談ください。
- 煙が出たり、変な音やにおいがするときは、ただちに使用を中止し、ご購入の販売店にご相談ください。
- 万一、浸水が起きた場合は、ただちに電源を切りすぐに使用を中止してください。
- 浸水しているときは、内部の圧力が高くなっていることがあります。本体ケースを開けるときに水が吹き出したり、本体ケースが跳ね上がったたりすることがありますのでご注意ください。ケガの原因になります。
- 本体ケースやバッテリーキャップの開閉は、火の気のない場所でおこなってください。
- 本製品は気密構造となっておりますので、密閉した状態で航空機などで運搬した場合、内外の気圧差が生じることがあります。本体を密閉しない状態で運搬してください。
- 水しぶきのかかるところ、湿気の多いところ、海岸など砂のつきやすいところでは、本製品の開閉をおこなわないでください。水滴落下・浸水などにより故障の原因になります。

- 本製品を落としたり、振り回したり、撮影機材を持ったままボートから海に飛び込んだり、機材を海に投げ込むなど、強い衝撃を与えないでください。思わぬケガや破損・故障の原因となります。
- ストロボ・ライト・アクセサリ類は確実に固定し、落下・紛失などにご注意ください。また、必要以上に曲げたり、力を加えたりしないでください。思わぬケガや破損・故障の原因になります。
- 本製品の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。重量で本体が変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。また、浸水の原因にもなります。
- カメラをハウジングに入れて使用すると、ダイヤル・ギア等との摩擦により、カメラにキズがつく可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
- ポートやファインダーなどのガラス／プラスチック面にキズがつかないように十分にご注意ください。
- ポートやファインダーなどのガラス／プラスチック面は、キズがつかない柔らかい布などで水滴をよく拭き取ってください。水滴がついたまま放置しますと、シミ・ムラとなって残ってしまう恐れがあります。
- ご使用後は、防水されている状態で、必ず真水で洗ってください(詳しくは「お手入れと保管上のご注意」(P.J-15)をご覧ください)。
- 接続していたシンクロコード類をはずして洗う際は、必ず本製品のコネクターキャップを閉めて、防水された状態で洗ってください。
- 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- 高温になるところに放置しないでください。特に炎天下や真夏の車内、車のトランクの中は異常に高温になりますので絶対に放置しないでください。本製品はプラスチックを一部使用しておりますので、熱で変形し内部部品が破損すると、火災・感電・故障などの恐れがあります。また、高温となる環境下に製品を密閉した状態で放置しますと、内部の圧力が上がり本体の変形や反り等が生じて、浸水の原因となったり、また結露を生じる場合があります。
- 水に濡れたところや湿気の多い場所で本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ナフタリンや樟脳の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- 万一、本製品の不具合により撮影できなかった場合、撮影内容・撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
- 本製品のご使用上において、万一、お客様の取り扱い上の不注意による破損・損傷などが生じた際のカメラ・レンズ、その他のアクセサリ等の交換・補償はいたしかねます。
- 本書の記載内容の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- Oリングの取り扱いにつきましては、Oリングメンテナンスマニュアルをご覧ください。

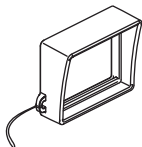
## 同梱品を確認しましょう

本製品をご使用いただく前に、すべての同梱品が入っていることをご確認ください。

DX-1200HD



遮光フード



ハンドストラップ



シリコングリス



Oリングリムーバー

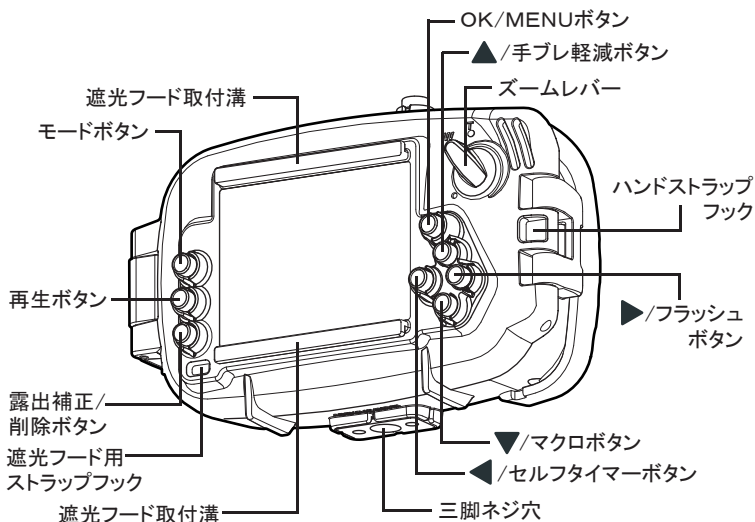
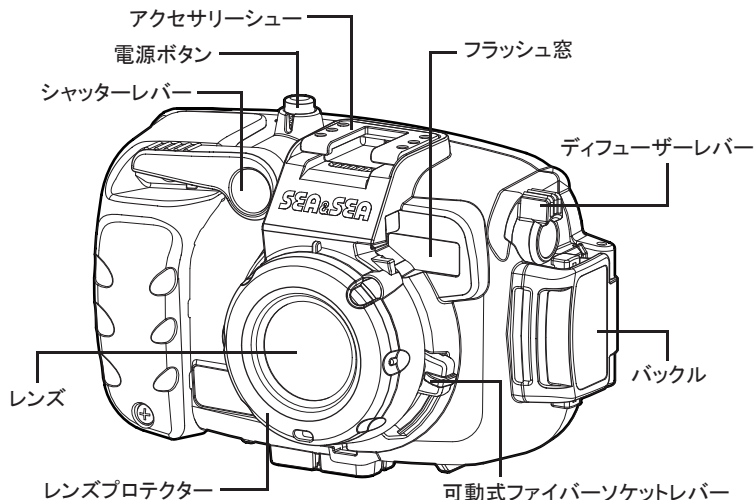


シリカゲル(乾燥剤)  
(5個入)



- Oリングメンテナンスマニュアル
- DX-1200HD 取扱説明書(本書)

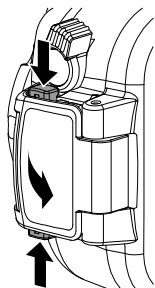
# 各部の名称



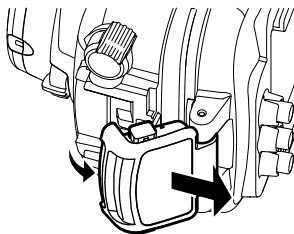
## 裏蓋の開け方

- 1 本製品左側面の上下2箇所のバックルロックボタン(赤色)を、同時に押しながらバックルを後方に引き起こす

- 裏蓋が持ち上がります



- 2 裏蓋を後方に引っ張り、裏蓋を開く

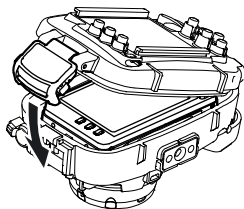
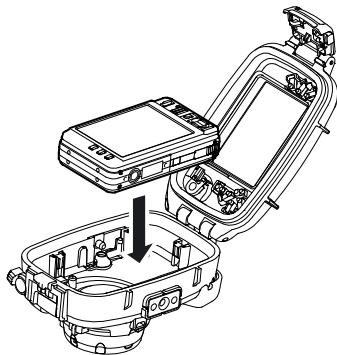


### ⚠ 注意

- 裏蓋を開ける前に、本製品が完全に乾いているか、また汚れていないかを確認してください。汚れているときは必ず真水で洗い、乾いた布で水分を良く拭き取ってから開けてください。
- 絶対にバックルロックボタン・バックルを水中で操作しないでください。
- 水中での使用後に裏蓋を開けるときは、残った水滴や砂などが内部に入らないよう、十分にご注意ください。

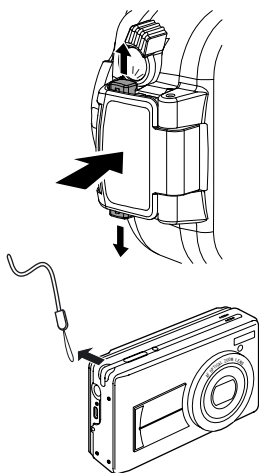
# 1200HDカメラのハウジングへのセット方法

- 1 1200HDカメラの電源をOFFにして、右図のように1200HDカメラを本製品にセットする
- 2 ストラップの挟み込みや、OリングおよびOリング接触面にゴミや傷・変形がないことを確認してから裏蓋を閉じ、バックルを前方に倒す
- 3 バックルを図の矢印の方向にカチッと音がするまで押し込み、上下の赤いバックルロックボタンがバックルから飛び出していることを確認する



## ⚠ 注意

- 1200HDカメラのリストストラップを挟み込んで、浸水を起こす可能性があります。カメラをセットする際は、リストストラップを取りはずしてください。
- 1200HDカメラを取り付ける（取りはずす）際は、必ずカメラの電源を切ってください。電源を入れたまま取り付け・取りはずしをおこなうと、カメラの突出したレンズ部分と本製品が接触してカメラの破損・故障の原因になります。
- セットした1200HDカメラが本製品に対して大きく傾いていないことを確認してください。

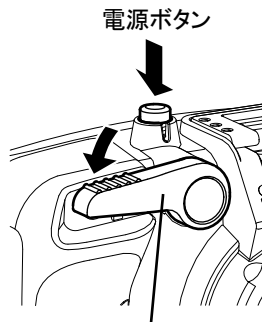




## 各部の操作

### 電源ボタン

電源ボタンを押すと、1200HDカメラの電源が入ります。電源が入った状態で電源ボタンを押すと、1200HDカメラの電源が切れます。



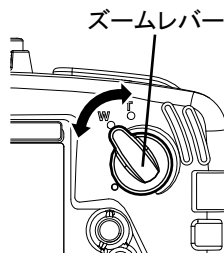
シャッターレバー

### シャッターレバー

シャッターレバーを押し下げると、1200HDカメラのシャッター操作がおこなえます。

### ズームレバー

ズームレバーを左側に回すと広角側に、右側に回すと望遠側に、1200HDカメラのズームの操作がおこなえます。

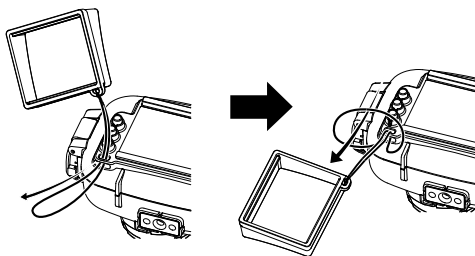


### その他の操作部

各操作ボタンを押すことにより、1200HDカメラの各機能を水中で操作できます。詳しい操作方法は1200HDカメラの取扱説明書をご覧ください。

## 遮光フード

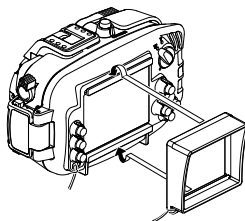
- 1 右図のように遮光フード用ストラップを本製品に通す



- 2 付属の遮光フードを本製品の遮光フード取付溝にはめ込む

### ⚠ 注意

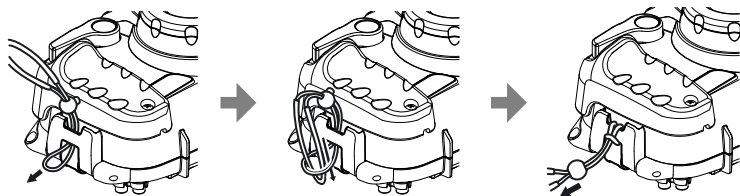
- 裏蓋を閉じるときに遮光フード用ストラップを挟み込まないように注意してください。
- 遮光フードをつかんで本製品を持ち上げないでください。遮光フードが外れて、本製品が落下して破損する恐れがあります。



## ハンドストラップ

### ハンドストラップの取り付け方

下図のように、ハンドストラップを本製品の前面よりハンドストラップフックに差し入れ、輪に緩みなくなるまで引いてください。

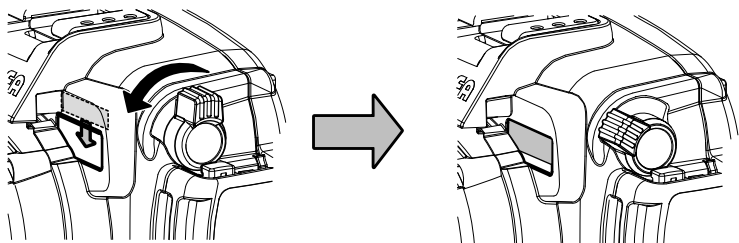


- オプションのアクセサリ（ワイドコンバージョンレンズ・ステー・アーム・ストロボ・ライト等）をご使用の場合は、陸上でハンドストラップを使用しないでください。アクセサリの重みでハンドストラップが破損し、思わぬケガや本製品・アクセサリの破損、紛失などが生じる可能性があります。

## ディフューザー

ディフューザーレバーを前方に回すと、フラッシュ窓内部にディフューザーがセットされます。ディフューザーを使用することにより、1200HDカメラの内蔵フラッシュ光を拡散・減少させることができます。

ディフューザーは、内蔵フラッシュ光が正面から照射されることが原因で発生する、浮遊物等の写り込みを減少させたい場合などに有効です。

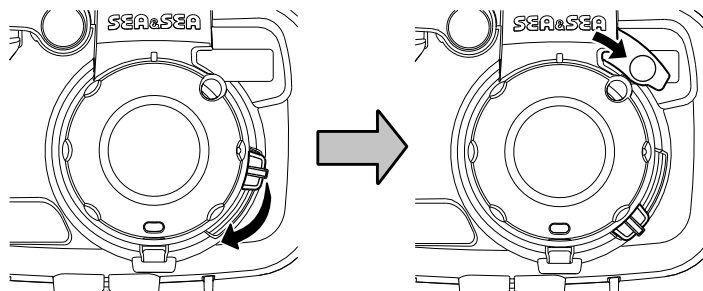


### ⚠ 注意

- 本製品は構造上、内蔵フラッシュ光が均一に照射されません。そのため、撮影時には外部ストロボのご使用をおすすめします。

## 可動式ファイバーソケットレバー

可動式ファイバーソケットレバーを下方向に回すと、光ファイバーケーブル差込口が出てきて、光ファイバーケーブル(オプション)を使用できます。

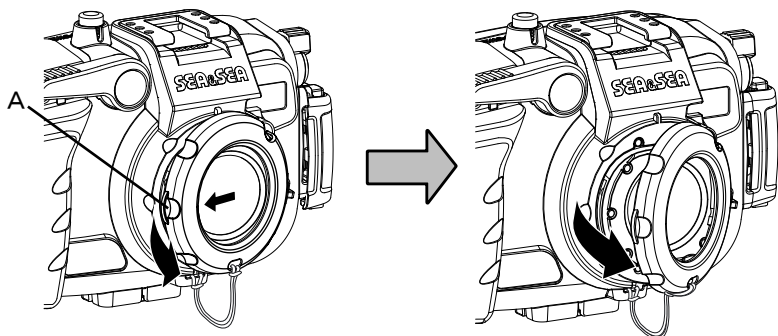


## レンズプロテクター

レンズプロテクターは取りはずし可能です。オプションのアクセサリーをご使用の際に、取りはずしてください。

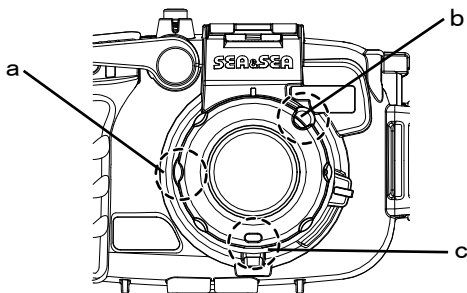
### レンズプロテクターの取りはずし方

レンズプロテクターの左側面にあるA部分を外側に引っ張りながら、押上げる



### レンズプロテクターの取り付け方

a、b、cの3点を下図の位置をに合わせ、レンズプロテクターを押し込む



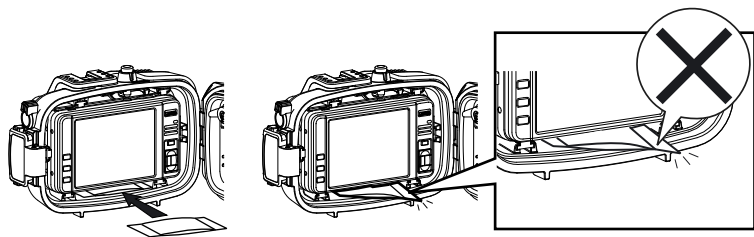
● レンズプロテクターがしっかり取り付けられていることを必ず確認してください。

## シリカゲル(乾燥剤)

気温と水温の差が大きい、または長時間の撮影等でカメラが熱を持った場合などに、本製品内部で発生する結露により、本製品のレンズ内側が曇ることがあります。結露を軽減するために、付属のシリカゲルを下記のようにお使いください。

### シリカゲルの取り付け方

- 1 本製品に1200HDカメラをセットする
- 2 本製品の図の場所にシリカゲルを置き、裏蓋を閉じる



- シリカゲルがOリングの当たり面にはみ出していないことを必ず確認してください。
- 裏蓋を閉じるときは、シリカゲルの挟み込みがないことを必ず確認してください。

## オプションアクセサリーの取り付け

本製品には、オプションの弊社製アクセサリーを容易に取り付けることができます。本製品と各種アクセサリーを組合わせて使用することで、より表現豊かな水中撮影がお楽しみいただけます。

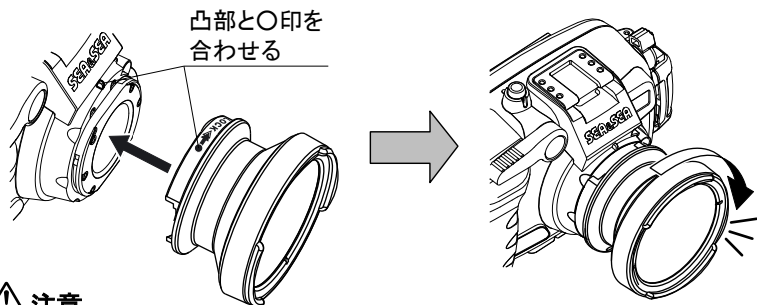
- レンズ・ストロボ・ライトなどアクセサリーの耐圧深度は、製品によって異なります。必ず各種アクセサリーの耐圧深度をご確認の上ご使用ください。
- オプションアクセサリーをご使用の際は、必ず各アクセサリーの取扱説明書をお読みください。

## ワイドコンバージョンレンズ(オプション)

本製品にオプションのDX-860G用ワイドコンバージョンレンズ(#52115)を取り付けることにより、撮影画角が20mm相当(0.55倍)(地上値)に広がります。

### ワイドコンバージョンレンズの取り付け方

- 1 本製品からレンズプロテクターを取りはずす  
⇒ 「レンズプロテクター」(P.J-11)
- 2 本製品のレンズ上部の凸部とレンズのパヨネット部の○印を合わせて、レンズを本製品に押しつける
- 3 レンズをクリック感があるまで、時計方向に回す

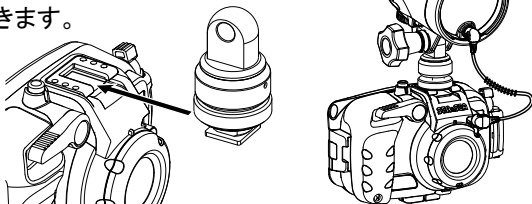


### ⚠ 注意

- レンズをご使用の際は水中で一度取りはずすか、または軽く振り、レンズと本製品の間の空気を抜いてください。
- DX-860G用ワイドコンバージョンレンズを使用して撮影した場合、撮影状況等によって画面の4隅が暗くなる場合があります。

## アクセサリーシュー

本製品のアクセサリーシューにオプションのミニシューアーム(#29511)もしくはホットシューアーム(#29501)を使用して、弊社製外部ストロボ・ライト等を取り付けることができます。



### ⚠ 注意

- アクセサリーシューに取り付け可能なアクセサリーの重量は750g(YS-110α相当)までです。
- アクセサリーシューにストロボ等のアクセサリーを取り付けて使用する場合、陸上での移動時はアクセサリーシューからアクセサリーを取りはずしてください。

## 光ファイバーケーブル(オプション)

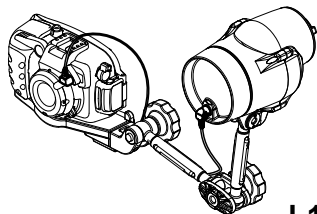
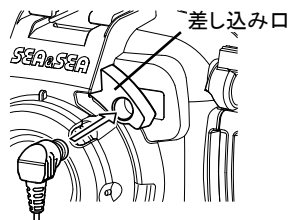
本製品には、オプションの弊社製外部ストロボ用光ファイバーケーブル差し込口が装備されています。

⇒「可動式ファイバーソケットレバー」(P.J-10)

ご使用の際は、光ファイバーケーブル(オプション)を図の位置に止まるまで差込んでください。

- 外部ストロボは、ワイド撮影等で内蔵ストロボの光量が不足する場合・逆光撮影時・浮遊物の写り込みを防ぐために、横方向からストロボを照射する場合・マクロ撮影時に内蔵ストロボ光によって生じるレンズ部分の影を消す場合などに有効です。

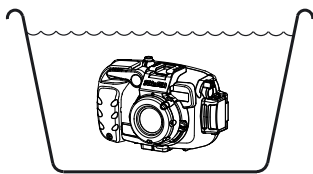
### ＜取り付け例＞



## お手入れと保管上のご注意

### ⚠️ 注意

- 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- ご使用になった後は、必ず防水されている状態で、図のように十分に真水につけてから流水で洗ってください。可動部分(レバーやボタンなど)は動かしながら洗ってください。ハウジングを洗うときは、バックル・バックルロックボタンを絶対に操作しないでください。
- 十分に真水に浸けなかったり、流水で洗うだけでは塩分が残りに、乾燥すると塩は結晶となり水に溶けにくくなります。本製品に付着した塩の結晶は非常に取れにくく、浸水の原因になることもありますので、必ず真水に十分に浸けてください。
- 水洗いした後は、乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、陰干しにして乾かしてください。
- 熱を発生する器具で強制的に乾燥させることは、変形や破損の原因となることがありますのでおやめください。
- 長期間ご使用にならないときは、高温・高湿、直射日光の当たる場所や、極寒になる場所を避けて保管してください。
- ナフタリンや樟腦の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ご使用になった後は、カメラをハウジングから取り出してください。カメラを取り出すときは、ハウジングの水分をよく拭き取ってから、水滴が内部に落ちないように注意しておこなってください。もし内部に水滴が落ちたときはよく拭き取ってください。
- ご使用になった後は、Oリングのメンテナンスをしてから保管してください。ご使用の前後に必ずOリングの点検をし、早めの交換をおすすめします。
- ご使用の頻度や保管状態によっても異なりますが、製品の性能を維持するために、お買い上げいただいてから2年毎に1回を目安に、オーバーホール(有料)にお出しになることをおすすめします。





# 仕様

適応カメラ	1200HD
操作部	電源ボタン、シャッターレバー、デフューザーレバー、可動式ファイバーソケットレバー、ズームレバー、モードボタン、再生ボタン、露出補正／削除ボタン、OK／MENUボタン、▲/手ブレ軽減ボタン、◀/セルフタイマーボタン、▶/フラッシュボタン、▼/マクロボタン
材質	ボディ:ポリカーボネイト樹脂 グリップ:ABS樹脂
耐圧深度	45m
サイズ	約145(幅)×97.5(高さ)×85(奥行) mm
質量	約375g(ハウジングのみ)
付属品	遮光フード・リングリムーバー・シリカゲル(乾燥剤)・ハンドストラップ・シリコングリス・リングメンテナンスマニュアル・取扱説明書(本書)

※本機の仕様および外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

# SEA&SEA

---

**シーアンドシー・サンパック株式会社**

〒332-0016 埼玉県川口市幸町3-2-20  
TEL.048-256-2251

**カスタマーサービスセンター**

TEL.048-255-8512  
<http://www.seaandsea.co.jp>

**SEA&SEA SUNPAK Co., Ltd.**

3-2-20, Saiwai-cho, Kawaguchi-shi,  
Saitama, Japan 332-0016  
TEL. +81-48-256-2251

**World Customer Service Center**

TEL. +81-48-255-8512  
<http://www.seaandsea.jp>